

もみじ増刊号

大和町立小野小学校 学校だより 増刊第1号 平成31年1月11日(金)発行

友の笑顔

～ 第三学期始業式校長あいさつより～

遅ればせながら新年あけましておめでとうございます。本年も小野小学校の教育活動へのご支援ご協力どうぞよろしくお願いたします。さて本年より「もみじ増刊号」と題して、定期の学校だよりとは別に、校長室より学校の様子を少し詳しくお伝えすることにいたしました。不定期の発行になると思いますが、お読みいただければ幸いです。

新年の第1号は、第三学期始業式での校長あいさつについて紹介します。

「明るいまいさつ いつも元気で 上を向き 笑顔輝く 音楽大好き あいうえ小野小学校」の皆さん、今日は3学期のはじめの式、始業式です。そして平成最後の年、平成31年、西暦2019年のはじめの学校です。

新年のあいさつをしましょう。

「全校の皆さん、新年明けましておめでとうございます。」

(児童)「おめでとうございます」

元気なあいさつで、とても立派です。

今朝も校門で、たくさんの皆さんから素晴らしいあいさつをもらいました。

「校長先生明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。三学期もがんばります。」中には「校長先生お体を大切に」などと、心が温かくなるような一言を付け足してくれるお友達もいました。本当にありがとう。

ところで、皆さん、ことしは何年ですか。そう、いのしし年ですね。ねずみ年、うし年のように、その年を動物で表したものを十二支と言います。暗唱名人で挑戦した皆さんもいましたね。

皆さん十二支を全部言えますか。言ってみましょう。

(児童)「ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、い。」
素晴らしい、ほとんどの皆さんが覚えているようですね。

いのしし年生まれの皆さん、手を挙げてください。

(平成19年生まれの5、6年生が挙手)



皆さんは、今年の年男・年女です。いのししのように「目標に向かってまっすぐに突き進んで、あきらめずにやり抜く」よさのある皆さんです。年男・年女は縁起がいいと言われていています。良い年にしましょう。手をおろしてください。

実は、校長先生もいのしし年生まれです。今、手を挙げた皆さんは生まれて2回目のいのしし年ですが、校長先生は0歳、12歳、24歳、36歳、48歳、60歳と6回目のいのしし年です。60歳になると還暦といい、長寿のお祝いをします。でも校長先生はまだまだ元気なので、72歳、84歳、96歳、108歳、120歳まで長生きして2回目の還暦を迎えたいと思っています。(児童笑)

さて、ここで皆さんに一つの詞を紹介したいと思います。
「友の笑顔」と言う詞です。

1 友の笑顔を見るたびに
ぼくまでなぜか うれしくなる
やさしさあふれる 笑顔には
言葉にできない ものがある

2 友の笑顔を見るたびに
ぼくまでなぜか 楽しくなる
うれしさあふれる 笑顔には
言葉にできない ものがある

3 友の笑顔を見るたびに
ぼくまでなぜか やる気です
元気あふれる 笑顔には
言葉にできない ものがある



この詞は、平成30年度第70回宮城県小・中・高等学校児童・生徒作詞・作曲コンクールで優秀賞をいただいた6年1組の早坂優真さんの作品です。とてもすてきです。「友達の笑顔には、言葉にはできないくらいのよさ」があるんですね。

さあ、今日から今年一年、小野小学校の皆さんが、いつもとびっきりの笑顔で過ごせるよう、みんなで温かな言葉を掛け合い、さらに素敵な小野小学校にしていきたいでしょう。

そのためにも三学期は、特に、この3月に卒業を迎える6年生と、最高学年を引き継ぐ5年生の皆さんの、力一杯の活躍を期待しています。

子供たちは、終始姿勢良くしっかりとした視線で、お話を聴いてくれました。また、児童意見発表では2年1組の浅井啓介さんと3年3組の安部優衣香さんが三学期の目標を落ち着いた態度ではっきりと話してくれました。一年の初めにふさわしい凜とした始業式になりました。三学期での子供たちの成長がとても楽しみに感じられました。